

# 浜岡原子力発電所5号機 気体廃棄物処理系の点検・調査状況について

平成 21 年 2 月 20 日

現在、5号機の気体廃棄物処理系(※1)で水素濃度が上昇した事象について、機器の点検および各種試験等を実施し、原因の調査を実施していますが、これまでの状況についてお知らせします。

## 1. 機器の点検状況

現在、気体廃棄物処理系の機器について、点検を実施しています。

排ガス再結合器を分解点検した結果、本体内部に変形や損傷等の異常はありませんでした。

なお、排ガス再結合器の内部に、1～2ミリメートル程度の複数の黒い付着物があること、また、前回(平成20年11月5日)の事象同様、流体の流れ跡を確認しました。また、露点温度検出器を分解点検した結果、検出部の金網状のフィルタに、前回の事象同様、変色と複数の穴を確認しました。

現在、これらについて調査を実施しています。

## 2. 各種試験等の状況

事象当日の運転データの調査を実施しています。

また、5号機タービン建屋内に、排ガス再結合器を模擬した試験装置を設置し、排ガス再結合器から取り出した触媒を用いて、触媒の性能を確認する試験を実施しています。

また、メーカ工場において、触媒の性能を確認する試験を実施するとともに、排ガス再結合器内のガスの流れや、圧力損失に着目した試験装置を新たに製作し、排ガス再結合器の特性を確認する試験を実施しています。

さらに、触媒の製造工程についても調査を実施し、結果の取りまとめを実施しています。



5号機タービン建屋3階に設置した触媒性能確認用の試験装置

	1月	2月	3月
		点検・調査結果まとめ	
【機器の点検】	点検		
【運転データの調査】	調査		
【発電所での試験】	試験		
【メーカ工場での試験】	装置製作	試験	
【触媒製造工程の調査】	調査		

機器の点検結果および水素濃度上昇原因の調査結果については、まとまった段階で、お知らせいたします。

なお、点検・調査期間は、点検・調査の状況によって変更となる場合があります。

### 【これまでにお知らせした内容】

5号機は、平成20年12月30日午前0時27分、発電機出力約83万キロワットで出力を一定保持していたところ、気体廃棄物処理系で系統内の水素濃度の上昇を示す警報(設定値:2%)が点灯し、その後も水素濃度が上昇傾向を示すとともに、排ガス再結合器の性能低下傾向が継続したことから、午前0時39分に原子炉を手動停止しました。  
(平成20年12月30日公表資料)

点検準備が整ったことから、平成21年1月16日より排ガス再結合器を開放し点検を開始しました。また、排ガス再結合器から取り出した触媒を用いて試験等を実施し、水素濃度が上昇した原因について、調査を進めています。  
(平成21年1月15日公表資料)

※1 気体廃棄物処理系は復水器に流入する「水素」、「酸素」および「気体状の放射性物質(希ガス)」を処理する系統です。  
このうち「水素」と「酸素」は同系統で処理(再結合反応)され水となります。

以上